

<機能追加・不具合修正>

摘要項目の見直し

令和 6 年 10 月から追加・変更となった一部の摘要(下表)の入力とレセプト作成等に対応。

区分	診療行為名称等	レセプト電算処理システム用コード	左記コードによるレセプト表示文言
A000	歯科診療特別対応加算 1、2 及び 3	CA002 (301000470)	歯科診療特別対応加算 1 (初診) ****分
		CA003 (301000570)	歯科診療特別対応加算 2 (初診) ****分
		CA261 (301122870)	歯科診療特別対応加算 3 (初診) ****分
A002	歯科診療特別対応加算 1、2 及び 3	CA015 (301001970)	歯科診療特別対応加算 1 (再診) ****分
		CA271 (301123970)	歯科診療特別対応加算 2 (再診) ****分
		CA272 (301124070)	歯科診療特別対応加算 3 (再診) ****分
B000-8	周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)	850100470	放射線治療等実施年月日 (周 3); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
		850100306	放射線治療等予定年月日 (周 3); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
		820101015	緩和ケア (周 3)
		820101327	集中治療室 (周 3)
		850190244	周術期等口腔機能管理計画策定料算定年月日 (周 3 (長期管理加算)); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
B000-9	周術期等口腔機能管理料(Ⅳ)	850190277	放射線治療等実施年月日 (周 4); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
		850190278	放射線治療等予定年月日 (周 4); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
		820101328	緩和ケア (周 4)
		820101329	集中治療室 (周 4)
		850190246	周術期等口腔機能管理計画策定料算定年月日 (周 4 (長期管理加算)); (元号) yy"年"mm"月"dd"日"
C001	訪問歯科衛生指導料	820101330	緩和ケア (訪衛指)

- 「歯科診療特別対応加算」の摘要は「**[[開始時間]~[終了時間]]から[[時間]分に変更**となり、紙レセプトのみに記載が必要になります。また、バージョンアップ前に入力されている摘要については**電子レセプトに時間の電算コメントが出力されますが、請求に問題はありません。**したがって、バージョンアップ後に当該処置の入力のし直しは不要です。

- 「訪問歯科衛生指導料(緩和ケア)」に対する自動摘要「緩和ケア(訪衛指)」は令和 6 年 6 月 1 日から適用されますが、電子レセプトの電算コードでは令和 6 年 10 月 1 日~は「緩和ケア(訪衛指)」、令和 6 年 9 月 30 日までは変更前の「緩和ケア」で記録されます。

<機能追加・不具合修正>

医療 DX 推進体制整備加算

「マイナ保険証利用率入力」画面の利用率入力エリアに「100」を入れても見切れてしまう不具合を修正。

レセプトプレビュー/レセプト印刷

令和6年6月～9月診療分のレセプトプレビュー/レセプト印刷において、一部の処置の略称が改正前の文言で記載される不具合を修正。

バージョンアップ作業手順



バージョンアップ前に必ずバックアップを取ってください。
バージョンアップは Windows 起動直後に実施してください。
(パソコンの電源を一度切った後に作業を行います)

①『POWER4G』を終了し、全てのコンピュータの電源を切ります。

2台以上コンピュータを使用されている場合は子機の電源を全て切り、親機の電源は最後に切ってください。また、電源を切る際に必ずバックアップを取ってください。

②親機のみ電源を入れます(コンピュータ1台のみの場合は親機、子機の区別はありません)。

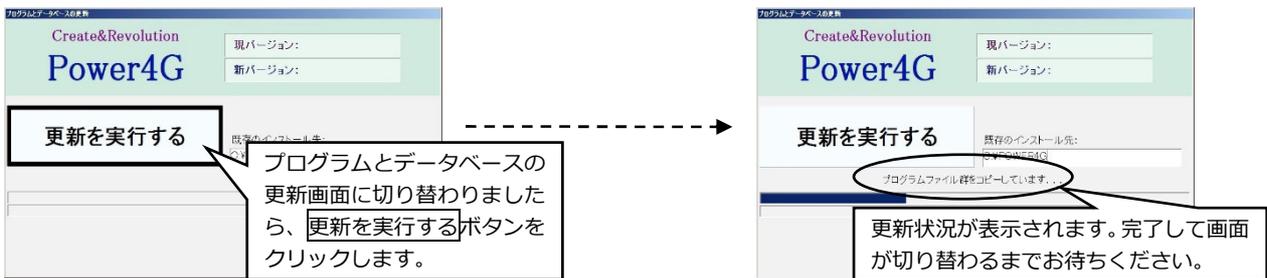
バージョンアップを行う前に『POWER4G』を起動しないようご注意ください。

③CD-ROMドライブにバージョンアップCDをセットします。

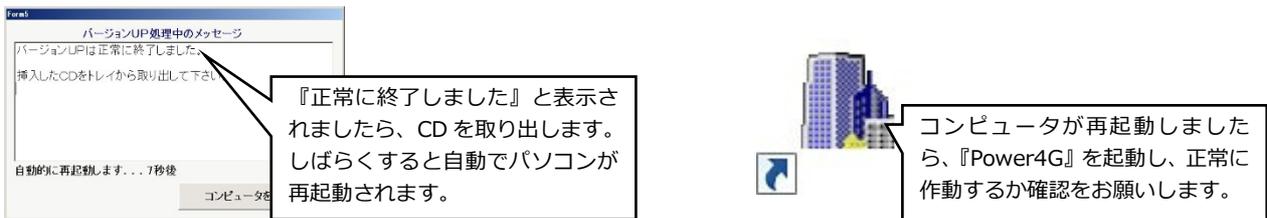
バージョンアップの準備をしています... と画面に表示されます。パソコンの性能や環境によってはこの画面が10分くらい表示されることもありますが、次のプログラム解凍画面に移動するまでこのままお待ちください。その後、プログラムの解凍画面に切り替わります。



④更新を実行します。



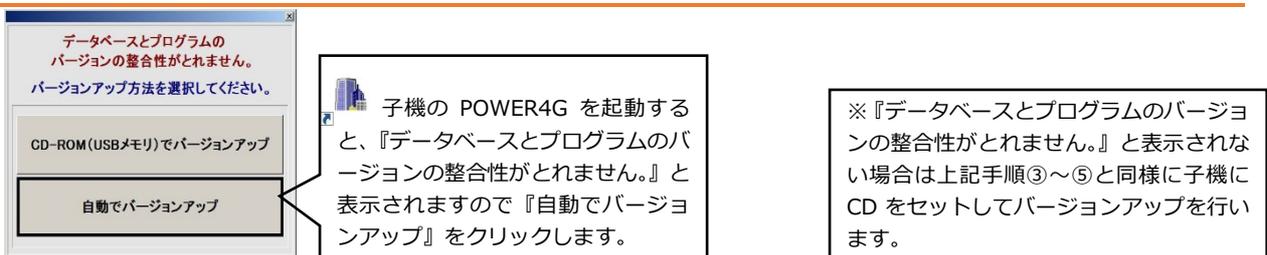
⑤CDを取り出してコンピュータの再起動を行います。



※コンピュータが1台の場合、バージョンアップ作業はこれで完了です。

コンピュータが2台以上ある場合

⑥親機の作業終了後、親機の電源は入れたままで子機の電源も入れ、『POWER4G』を起動します。



※子機が複数台ある場合、同時にバージョンアップが可能です。子機の起動を確認して作業終了です。